

2016年4月
No.16-051a(全)※1

「尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目の検査委託先より、本年5月末日から測定試薬をCLEIA法による試薬に変更する旨の連絡がございましたので、取り急ぎご案内いたします。本変更により検出感度が向上するとともに、検査所要日数の短縮が可能になります。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。
敬具

記

■対象項目/変更内容

●[7065] 尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

変更内容	新	旧
検査方法	CLEIA [富士レビオ]	EIA [シミックホールディングス]
保存方法	冷蔵	凍結(-20°C以下)
報告上限	濃度 200,000 ng/mL 以上	濃度 ∞
報告下限	濃度 0.50 ng/mL 未満	濃度 1.5 ng/mL 未満
報告形態	濃度 小数2位、有効5桁	濃度 小数1位、有効3桁
所要日数	4~6日	4~8日
備考	クレアチニン補正值($\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$)および濃度(ng/mL)をご報告いたします。 濃度が <u>0.50ng/mL</u> 未満の場合は、 <u>0.50ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告いたします。	クレアチニン補正值($\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$)および濃度(ng/mL)をご報告いたします。 濃度が <u>1.5ng/mL</u> 未満の場合は、 <u>1.5ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告いたします。

※検体量・基準値等の検査要項に変更はございません。

※新旧二法の相関は裏面をご参照下さい。

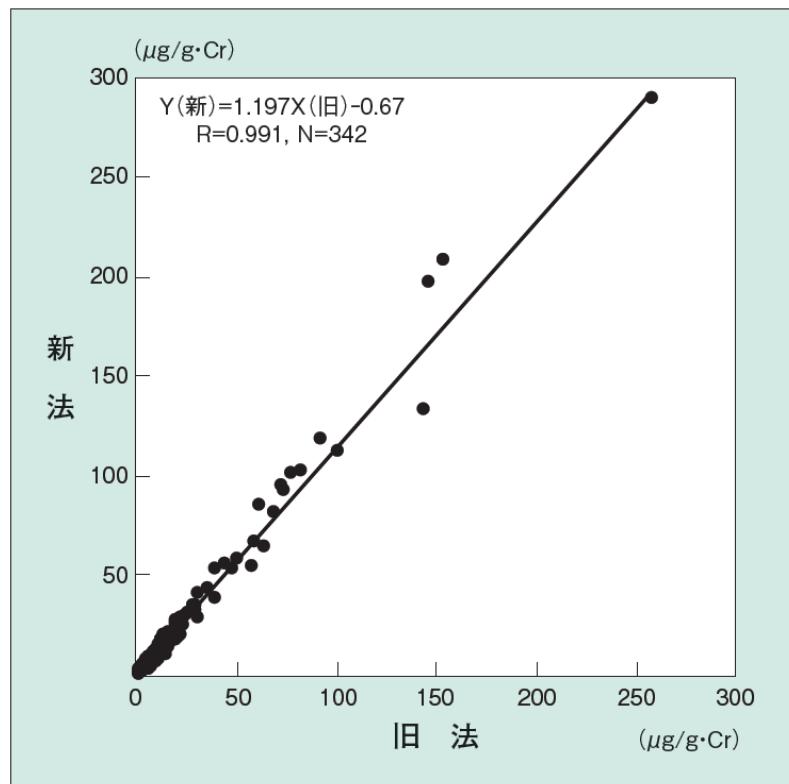
■変更期日

●2016年5月31日(火)受付日分より

以上

尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

■新旧二法の相関



(LSI メディエンス検討データ)

■参考文献

富田健一郎, 他:医学と薬学 72:1389–1395, 2015. (検査方法)

Kamijo-Ikemori A, et al: Diabetes Care 34:691–696, 2011. (基準値引用元)